

## 特別区全国連携プロジェクト 全国市町村アンケート結果について（分析版）

アンケートの内容から発想されるキーワードを元に回答を体系化

## キーワード1 「 地域課題の把握・整理 」

各地域により課題は千差万別。まずは現状把握と課題の整理が必要！

## 主な意見

- 全国各地域、東京それぞれに特有の課題がある。まずは、それぞれの課題の把握及び分類整理が必要。
- 各地域における課題は多種多様であり、課題解決の術は異なることが考えられる。各地域における行政課題や、その解決に向け実施している取組を情報共有することで、相互に課題解決への参考とすることができる。
- まずは相互理解が重要である。それぞれの現状と課題を持ち寄り、お互いの課題解決のために何ができるかを検討することが大切。

## キーワード2 「 プラットフォームの構築 」

課題を把握・整理するためにはプラットフォームの構築が必要！

## 主な提案

## 課題抽出のための意見交換の場の設定

- ・ 地域課題の相違点・共通点を抽出し、認識する場の設定（段階的な事業展開や将来の展望等の検討を含む）
- ・ 都道府県内で実施している連携事業の全国版としての取組

## 人事交流・人的支援による現状把握

- ・ 各自治体間での人事交流（職員の育成・能力向上、各地域課題の把握等）
- ・ 人材派遣（地域経営の観点から、他の自治体の業務・視点を学ぶ）
- ・ 被災地全体への23区連携としての人的支援の継続強化

## 相互の顔が見える関係の構築

- ・ 職員の相互交流事業（まちづくりの意見交換・役所間の情報交換等）
- ・ 各地域と都内職員の合同研修会等による職員同士の意見交換の実施

## キーワード3 「 相互補完で課題解決 」

相互の課題が分かったら、課題解決のために連携し補完することが重要！

## 主な意見

- お互いの強み、弱みを共有し、マッチングすることができれば、連携が拡大し、課題解決につなげることができるのではないかと。
- 東京だけでは解決できない課題、地域だけでは解決できない課題について、連携し補完し合いながら解決につなげていけるような協力関係が結べると意義深い。
- 東京と全国各地域それぞれの地域性や特徴的な政策を活かし、お互いに必要と合う自治体同士で交流を深めていってはいかがか。

## キーワード4 「 マッチング=具体的連携 」

様々なテーマで「マッチング=具体的な連携」を実施！

## マッチングのテーマ例

- 移住希望者（U I Jターン）への支援
- 観光PRの促進
- 体験交流を通じた連携
- 物産の販売促進
- 高齢者対策（移住支援・施設入所等）

## 主な提案

## 組織づくり

- ・ 連携による課題共有とその解決策のための組織づくり
- ・ 共通の事項（分野）による複数の自治体での小規模な連携組織の編成
- ・ 特別区長会や全国市長会、全国町村会等の既存の組織を活用した任意の協議会等の設置

## 共同事業・共同研究等の実施

- ・ 共同事業の企画・運営
- ・ 共通の課題に対する共同調査・研究（先進事例含む）
- ・ 政策交流・政策共同立案の実施（差異のある課題への相互の解決策の発信）

## イベント等の実施

- ・ キックオフイベントの実施
- ・ 首長会談・講演会・セミナー・シンポジウム・フォーラム等の開催